

ときあまごぜんごへんじ
富木尼御前御返事

御書全集 976頁5行目〜7行目
編年体御書 860頁3行目〜5行目

我れ等は仏に疑いなしとをぼせば・なに
のなげきか有るべき、きさきになりても・
なにかせん天に生れても・ようしなし、
竜女があとをつぎ摩訶波舎波提比丘尼の
れちにつらなるべし、あらうれし・あら
うれし、南無妙法蓮華経 南無妙法蓮華経
と唱えさせ給へ

通解

私たちは、仏になることは絶対に疑い
ないと思えば、何の嘆きがあるでしょう
か。
皇妃になっても、また天上界に生まれ
ても、何になるでしょう。竜女のあとを
継ぎ、摩訶波舎波提比丘尼の列に並ぶこ
とができるのです。なんと嬉しいこと
でしょうか。
ただ南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経
と、唱えていきなさい。

語句

竜女

竜王の8歳の娘。文殊師利菩薩が法華経を説くのを聞いて発心し、法華経の説法場で即身成仏の姿を現じた。

摩訶波舎波提比丘尼

釈尊の母の妹。釈尊の生母である摩耶夫人が亡くなったので、釈尊を養育した。最初の比丘尼（女性出家者）。法華経勸持品第13で、一切衆生喜見如来になると釈尊から保証された。